

# MUSASHINO PARK-LIFE MAGAZINE

むさしのパークライフマガジン

MPM

2015  
SPRING  
SUMMER  
VOL.2

YOUR PARK LIFE : Park Life × Voice

ESSAY : ヴィンテージのピクニックカップ

公園からはじまる、気持ちのいい一日。

季節を感じ、ほっとできる場所。

なにもしない、贅沢な時間。

……きっと、公園で過ごす時間は暮らしを豊かにする。

私たちは、そんなことを思っ日々公園で働いています。

公園を使いこなすと、どんなライフスタイルが待っているのか。

この「MUSASHINO PARK-LIFE MAGAZINE」では、

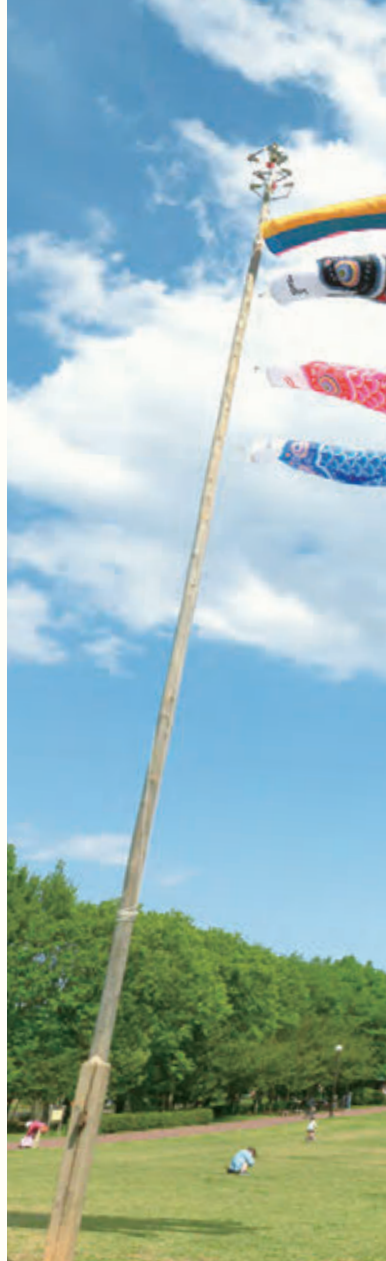
ちょっと素敵な自然のこと、

いままで気づかなかった生きものの不思議、

暮らしを豊かにする公園の使いこなし方、などなど。

公園で働く私たちだからこそお届けできる、

“パークライフ (Park Life)”の魅力をお伝えしていきます。





都立東村山中央公園「原っぱとこいのぼり」

# Park Life

# ×

# Voice

---

公園には、いろいろな住人がいます。

春が来て、一気にはなやぐ公園に楽しげな声があふれています。

さあ、住人たちの声を聞いてみましょう。

---



ちゅうちゅう  
ちゅうちゅう  
ちゅうちゅう

ウメからウメ、早咲きのサクラへ  
春のメジロは幸せです。  
メジロ (3月11日撮影：都立野川公園)

ばちっ

ばちっ

ばちり

ばちっ

ばちっ

ばちっ

ばちっ

ばちっ

ばちっ

ばちっ



ぱちっ

ぱちっ

ぱちっ

ぱちっ

ぱちっ

ぱちっ

ぱちっ

ぱちっ

ぱちっ

ぱちっ

春の訪れは、オオイヌノフグリのまばたきが教えてくれます。  
オオイヌノフグリ（3月14日撮影：都立野川公園）

どきどき

どきどき

どきどき


どきどき

どきどき

どきどき

冬眠から目を覚ましたばかり？  
白いシーツで二度寝かな？  
ナナホシテントウ（5月17日撮影：都立  
武蔵野中央公園）





ふあふ

子どもの頃のお気に入りのブランケットを思い出します。

ホオノキの新芽（4月12日撮影：都立武蔵国分寺公園）

緑の美しい公園には野草も咲いているし、虫たちも来る。

カエルやトカゲ、鳥たちも来る。

夜になればタヌキやハクビシンが歩いているかもしれません。

そんな生きものたちのことも考えて、私たちは公園づくりをしています。

大自然というようなものとは、違うのかもしれません。

それでも公園のあちこちに生きものたちの姿がある。

強さ、たくましさ、うれしさ、やさしさ、かわいらしさ…

いろいろな命の声を感じて、心を交わすことは私たちを豊かにするのだと思います。

## ヴィンテージのピクニックカップ

Episode. 2

4月になれば彼女は、春物の明るい帽子を出して、うきうきと話します。

「ねえ覚えてる？ あなたあの道を、東京の緑の背骨だって言つたのよ」

「ああ、玉川上水ね。チゴユリやキンランが咲いていた」

道すがら、盛り上がる草花のひと群れひと群れを指圧師のようにたどり、僕は「駅前がいいかんじのカフェもあった」

「でもあなた、森の中で珈琲を飲みたいでしょう？」

彼女にとつて、あの道は森なのである。考えてみれば、東京の真ん中をまっすぐに、20kmも木々に囲まれて歩ける道なんて他にはないのだ。垣間見える水は澄み、空を映してきらきら光る。メジロのペアが鳴き交わし、僕はしばらく立ち尽くした。

「行こうか？ 次の土曜日くらいに」

手帳を開き、すぐに閉じた。遠い所ではない。朝、窓を開けてから決めよう。

鷹の台から2分も歩けば上水沿いの緑道だ。そこから先にたくさんの花が待っている。ウラシマソウもあった。ウグイスカグラも咲いていた。ヤマブキが水面に垂れ、あらゆる木々が芽吹いている。あそこのチゴユリはずいぶん大きい。彼女のお気に入りはずりバナ。それを見た後、ずつと鼻歌を歌っていたから分かる。

小さな天使が雲から見下ろすように、ツリバナの花は咲くのである。

ここからは柔らかな彼女の声と、柔らかな木々の芽吹とが、ずつとたたわらに寄りそっていた。そして時々水面を見下ろす。

「珈琲ポットを持って行きますね？」

まだ少し冷たい空気の中を歩き、桜橋が近くなれば森も深くなってくる。あのあたりで熱い珈琲を飲むのはいい。小さなベンチがいくつかある。

「それとあのピクニックカップね？」

手帳に書くよりしっかりと、僕の心に書き込まれる、花咲く道と熱い珈琲のイメージ。その決め台詞を言いながら、彼女は帽子をぐるりと回す。

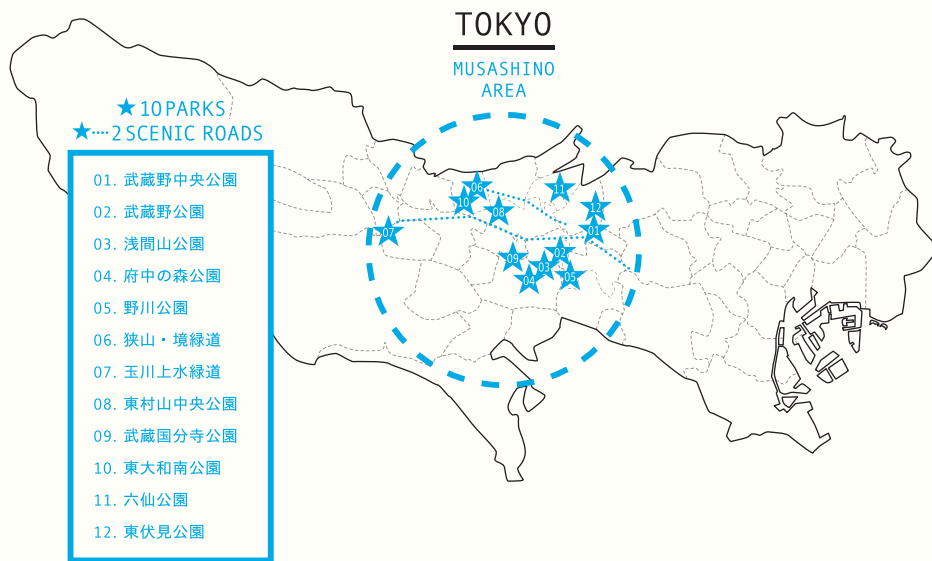
頭がくらくらするような、春の気配が飛び散った。

蜂須賀 之 (はちすか まさゆき)

武蔵野の自然をこよなく愛する都立公園のレンジャー。4月18日に玉川上水緑道で一般参加のガイドウォークを御案内。  
(問)042-392-7322 都立東村山中央公園

## 西武・武蔵野パートナーズ

武蔵野エリアにある都立公園の指定管理者「西武・武蔵野パートナーズ」は、西武造園(株)・ミズノ(株)・NPO法人NPO birthの3団体で構成された共同企業体です。2011年より公園の指定管理者として「人・自然・まちが元気になる公園に」をコンセプトに武蔵野エリアの10公園2緑道を管理しています。公園リソースと地域資源を最大限に掛け合わせ、各々の専門性を活かしながら新しい公園づくりを進めています。



発行：西武・武蔵野パートナーズ TEL:0422-31-6457(都立野川公園) <http://musashinoparks.com>

発行日：2015年3月20日

デザイン：川上明子

編集・製作：西武・武蔵野パートナーズ/リュエル・スタジオLLP

印刷・製本：シナノ書籍印刷株式会社

表紙写真/都立武蔵園分寺公園(撮影:宮奈 由貴子)

【お詫びと訂正】前号のP07「教えて!穴場スポット(ダイヤモンド富士がみられる期間)」について誤載がありました。お詫びして訂正いたします。  
(誤)冬至を挟んだ2週間 (正)11月の20日~22日、1月の20日~22日

MUSASHINO  
PARK-LIFE  
MAGAZINE

SEIBU・MUSASHINO PARTNERS

<http://musashinoparks.com>